

# なぜ初期臨床研修に 産婦人科ローテが 必要なのか。



## 外科的手技、内科的 思考について学ぼう。

産婦人科は不妊症などの内科的分野に加え、お産、そして悪性腫瘍はもちろん良性疾患の手術が数多くある、内外不分離の科です。そのため内科的思考と共に、会陰切開、手術の閉創、エコーの使い方など、外科的手技を学ぶ機会が豊富にあり、まだ専攻科が定まっていない研修医が回る科として最適と言えます。

## 妊婦への処方 を学ぼう。

どの科に進んでも、妊婦を診る機会はきつとやってきます。その時焦る自分を想像してみてください。妊娠の病態を理解し、自分の患者さんが妊娠した時にも正しく薬を処方できるかどうかは、もしかしたらこの産婦人科研修にかかっているかもしれません。

## 女性の腹痛と その鑑別を知ろう。

医師として腹痛の鑑別は必須です。異所性妊娠、月経困難症、卵巣腫瘍捻転など女性の腹痛の実際を知るチャンスは今しかないかもしれません。「女性を診たら妊娠を疑え。」この格言を聞いたことはあってもその大切さを実感する機会が、初めての当直だったら？百聞は一見に如かず。我々と一緒に、ヒヤリとする前に学びましょう。

## 生命の誕生の 瞬間に立ち会おう。

「生」と対極にある「死」。医師としてこれから沢山の「死」に向き合っていくかなければなりません。赤ちゃんが産まれるときの奇跡は産婦人科でしか味わえません。命の誕生の喜びは、「死」と向き合っていく医師としてかけがえのない財産となるでしょう。最終的にどの専攻科を選択するにしても1か月、奇跡の中で一緒に働いてみませんか。

# 世界の半分は女性でできている。

医師である以上、無関係ではられない。

詳しくは

産婦人科への扉

検索



日本産科婦人科学会では産婦人科への理解を深めるため様々な取り組みを行っています。

URL: [http://www.jsog.or.jp/to\\_medics/tobira/index.html](http://www.jsog.or.jp/to_medics/tobira/index.html)

当院ではこちら

担当者:

連絡先: